

2019 年 9 月 20 日
株式会社みずほ銀行

独立行政法人国際協力機構が発行する TICAD 債への投資について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、本日、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」）が発行する第 50 回国際協力機構債券（国内財投機関債）“TICAD 債” への投資を行いました。

本債券は、2019 年 8 月末に開催された第 7 回アフリカ開発会議（TICAD7）に合わせ、アフリカ向けの有償資金協力事業を資金使途とする債券「TICAD 債」として発行されるものです。また、国際協力機構債券（国内財投機関債）は、2016 年 12 月に日本政府が決定した「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」にて、ゴール 17「グローバル・パートナーシップの活性化」を達成する具体的な施策の一つにあげられており、国内の民間資金を開発途上国のために動員することを通じて、グローバル・パートナーシップの強化につながることが期待されています。

本債券により調達された資金は、JICA が実施する有償資金協力事業のうち、アフリカ諸国における道路、上水道、電力インフラの整備や教育分野等の支援に充当される予定です。

〈みずほ〉は、サステナビリティへの取り組みについて戦略との一体性を高め、グループ全体で推進する態勢を強化しています。総合金融グループとして知見を活かし、レジリエントな社会インフラ整備を推進する事業への資金調達支援をはじめ、多様なソリューションの提供に積極的に取り組んでいきます。

以上